

# 今年も梅雨の季節になりました 日頃の備えはお済みですか?!

防災に関するおたすね／防災安全課 ☎21-6606  
および各支所

## 防災ハザードマップが新しくなりました

～マップを壁などに貼って、地域の状況を確認しましょう～

災害に対する日頃の備えと、いざという時に役立っていただくため、新たな「防災ハザードマップ」を作成しました。

「防災ハザードマップ」は、みなさんのお住まいの地域で、洪水によってどこでどの程度浸水するおそれがあるか、また、どこで土砂災害の発生するおそれがあるか、どこが津波によって浸水するおそれがあるかなどを示したものです。

町内会加入世帯には、4月から順次配布しています。町内会未加入世帯の方はお近くの各地区コミュニティセンターまたは市役所本庁及び各支所にて配布しています。また市ホームページからも入手することができます。詳しくは防災安全課までおたすねください。



新しい冊子とマップ

## 土砂災害から身を守るためには

～集中豪雨の危険が高まる6月は「土砂災害防止月間」です～

### 土砂災害の前兆現象

土砂災害が発生する前には、前兆現象が起こる場合があります。前兆現象に気付いたら早めに自主避難し、防災安全課(☎21-6606)および各支所、または出雲県土整備事務所(☎30-5650)へ至急連絡してください。

#### がけ崩れ

雨で地中に染み込んだ水分が土の抵抗を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象。

〈前兆〉

- がけからの水が濁る。
- がけに亀裂が生じる。
- 斜面から小石がバラバラ落ちてくる。



#### 土石流

大量の土砂等が、豪雨による大量の水と混ざり合って、津波のように流れ出す現象。

〈前兆〉

- 山鳴りや立木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁り、流木が混ざりはじめる。



#### 地すべり

粘土などの地中の滑りやすい層に雨水が入り込み、地面がズルズルと動き出す現象。

〈前兆〉

- 地面にひび割れができる。
- 湧き水や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。



# 防災情報を入手しよう



災害から身を守るためには、正確な防災情報を入手し、早めの行動を心がけることが大切です。防災情報を次のとおり紹介します。

## 電話

- ・ 出雲市防災情報 ☎ 24-8651

音声案内に従って操作すると、市内29か所の雨量観測所の雨量情報や、注意報・警報発令情報などが入手できます。

## テレビ

- ・ 出雲ケーブルビジョン 11チャンネル
- ・ ひらたCATV 11チャンネル

出雲地域に大雨・洪水警報が発令されたとき、注意報・警報の発令状況、雨量・水位情報、市からの防災情報を放送します。

## ラジオ

- ・ NHK第1放送(AM) 周波数1296KHz
- ・ 山陰放送(AM) 周波数1431KHz
- ・ エフエム山陰(FM) 周波数 77.4MHz
- ・ エフエムいずも(FM) 周波数 80.1MHz

※「エフエムいずも」は、災害時等には市からの緊急情報を割り込み放送にて実施しています。

## インターネット

- ・ しまね防災ポータル <http://www.bousai-shimane.jp/>
- ・ しまね防災ポータル携帯版 <http://www.bousai-shimane.jp/m/>
- ・ 出雲市防災情報 <http://izumocity.bosai.info/pinpoint/index.html>

注意報・警報、雨量・水位情報、アメダス、気象レーダー、台風情報、衛星画像、地震情報等や市からの防災情報が入手できます。

QRコードからURLを取得できます。



しまね防災ポータル携帯版



避難勧告が出たら、  
速やかに避難所へ

## 携帯電話メール

### しまね防災メール ↓登録方法↓

- ① 空メールを送信してください。  
送信先アドレス：bousai-shimane@xpressmail.jp
- ② 登録用メールが30分以内に届きます。
- ③ 内容を確認のうえメール本文内の登録用URL(アドレス)を選択してください。
- ④ 登録画面で配信希望情報等を登録してください。

QRコードから送信先アドレスを取得できます。



注意報・警報、地震情報、水防情報、土砂災害情報が配信されます。

## 災害時要支援者ネットワーク事業

=支援希望者の登録を受け付けています=

高齢者や障がい者など災害時に支援が必要な方に、円滑な情報提供や支援活動を行う「災害時要支援者ネットワーク事業」を実施しています。

支援を受けるためには、事前登録が必要です。災害情報の入手や避難などに不安がある方は、民生委員、出雲市社会福祉協議会本所・各支所または市役所福祉推進課・各支所福祉担当課にご相談ください。

●おたずね／出雲市社会福祉協議会福祉課 ☎ 23-3781  
福祉推進課 ☎ 21-6694

# 地域を洪水から守るため

# 「斐伊川放水路分流堰」完成！

「斐伊川・神戸川治水計画のいわゆる「三点セット」（上流の尾原・志津見ダム、中流の斐伊川放水路と斐伊川本川の改修、下流の大橋川改修と中海・穴道湖の湖岸堤の整備）の一つで「斐伊川放水路事業」の要である「分流堰」が、このたび完成しました。

「斐伊川放水路事業」は、斐伊川と神戸川をつなぐ開削部と斐伊川から分流された水を日本海（大社湾）へ流す神戸川の拡幅部で構成されています。昭和50年の県による「斐伊川・神戸川の治水に関する基本計画」の発表から35年余り、今回完成した斐伊川放水路分流堰で、計画の三点セットのうち、斐伊川と神戸川の上流の尾原・志津見ダムに続き2つ目の事業の完成を目指します。



完成した斐伊川放水路分流堰—大津町上来原—

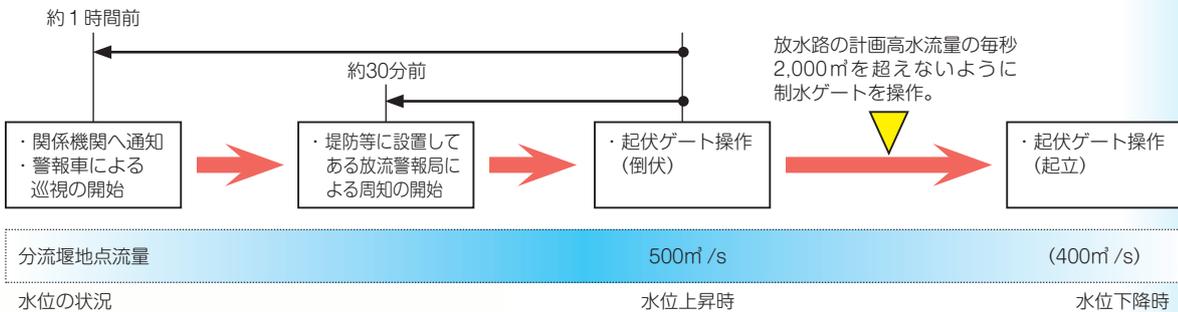
## 斐伊川放水路分流堰とは

斐伊川放水路分流堰は、斐伊川の洪水の一部を斐伊川放水路に分流させるために、大津町上来原の分流地点に建設された施設です。

分流堰の工事は、平成21年度から着手され、4年の歳月を経て、今年3月に完成しました。

斐伊川流域で2日間平均約400mmの雨が降った場合（150年に1回の確率の降雨）を想定して、斐伊川を流れる最大毎秒4,500m<sup>3</sup>の洪水量のうち、毎秒2,000m<sup>3</sup>の洪水量を放水路に分流させ、分流堰から下流の地域を洪水から守ります。今回は、斐伊川放水路分流堰の操作について、説明します。

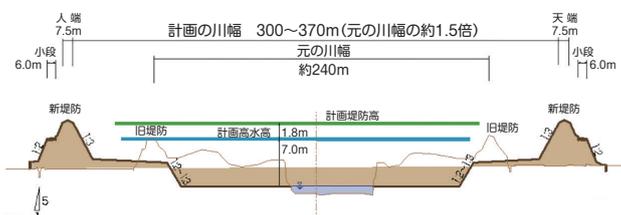
## ■分流堰操作の主な流れ



## 開削部の標準的な断面図

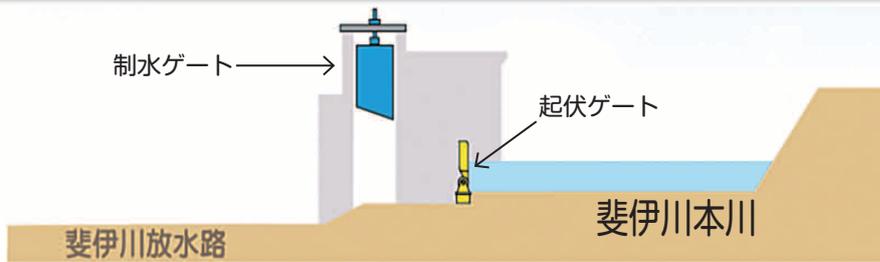


## 拡幅部の標準的な断面図



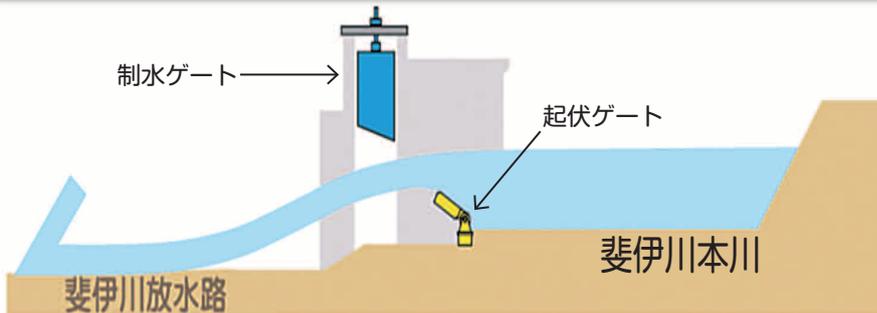
おたすね 国土交通省  
出雲河川事務所 ☎ 21 1850  
建設企画課 ☎ 21 6561

◆通常は…放水路に水は流れ込みません



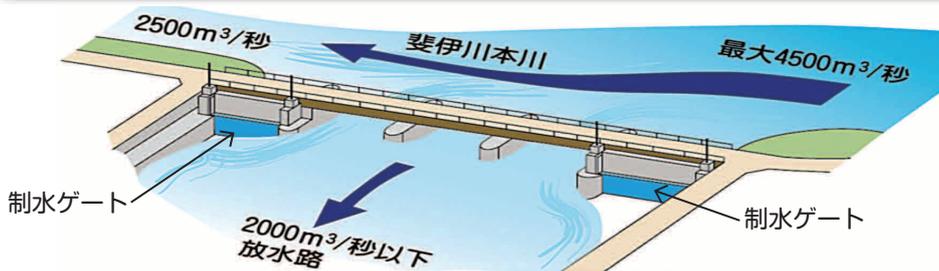
通常は、5門ある起伏ゲートが起立しているため、放水路に水は流れ込みません。

◆大雨が降り続けると…起伏ゲートを倒し、放水路へ水を流します



大雨により斐伊川本川が増水した場合、斐伊川本川の洪水量が毎秒 400m<sup>3</sup>を超えると、斐伊川放水路に自然越流が始まり、その後、同じく毎秒 500m<sup>3</sup>を超えると起伏ゲートを倒す操作を開始します。

◆計画規模の雨が降った場合…制水ゲートを降ろし、放水路へ流れる水を制御します



斐伊川本川の流量が増え、放水路への分流量が毎秒 2,000m<sup>3</sup>を超える恐れがある場合は、2門ある制水ゲートを降ろし、放水路への分流量を毎秒 2,000m<sup>3</sup>以下になるように操作します。

